

活動報告

令和4年度

2023年4月

一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構
事務局



[I-ROI]

Internet-Rating Observation Institute

インターネットのコミュニケーションツールとしての「技術的信頼性」と、インターネットが伝えるデジタルコンテンツの安全性・倫理性・信憑性を示す「社会的信頼性」の両概念を統合し、新しいインターネットのより広い「信頼性」(Credibility)の確立を目指します。

- ・エンドユーザーから専門家までの人材育成事業（資格認定制度）に取り組む
- ・青少年インターネット環境整備法の理念に基づき、特定サーバー管理者を設けて、青少年に対して有害情報の閲覧防止措置を具現化する
- ・安心・安全なインターネット環境を実現するための普及啓発活動に取り組む

1. DCA 資格の新教材「デジタルコンテンツアセッサに求められる最新知識 ver2.0」の制作・公開

2020 年度に制作・公開したデジタル教材について、2020 年から 2022 年までの法改正や社会情勢の変化といった最新知識を盛り込むべく新規コンテンツを追加しました。ver1.1 と比較して、総ページ数が 1.5 倍に増加。

- DCA 資格とは、当機構が運営する「デジタルコンテンツアセッサ資格」(Digital Contents Assessor)の略で、デジタルコンテンツの健全性を維持するために求められるコンピテンシー（知識・スキル等）を認定する資格です。
- DCA 資格の教材は、書籍教材とデジタル教材（PDF 教材）の二本柱で構成されており、デジタル教材は最新の法改正や社会情勢の変化に対応できるよう、定期的に改訂されています。 ※2023 年 5 月には ver.2.1 を公開予定
- 令和 4 年度は、このデジタル教材の改訂において、以下の新規コンテンツを追加しました。いずれも、ここ数年の間に社会的関心が高まったテーマであり、デジタルコンテンツの制作・管理の実務に直結する内容となっています。
(新規コンテンツ)
 - ・「インターネット上の海賊版への対策（令和 2 年度改正版）」
令和 2 年度になされた著作権法改正に対応したコンテンツ。
執筆：上沼紫野（虎ノ門南法律事務所弁護士）
 - ・「発信者情報開示制度の改正」
いわゆるテラスハウス事件に端を発する侮辱罪の厳罰化やプロバイダ責任制限法の改正に対応したコンテンツ。
執筆：曾我部真裕（京都大学大学院法学研究科教授）
 - ・「個人情報保護法及び電気通信事業法の改正」
2020 年と 2021 年になされた個人情報保護法の改正と、2022 年になされた電気通信事業法の改正に対応したコンテンツ。
執筆：曾我部真裕（京都大学大学院法学研究科教授）
- 新規コンテンツは、当該テーマに関する政府の審議会等に参画してきた専門家に寄稿いただき、高度な内容を正確に記述すると共に、今後の法改正の動向や新法の運用についての展望にも論及した内容になっています。

2. 「科目認定による DCA2 級修了試験」の出題内容を最新状況に対応すべくアップデート

大学において実施されている「科目認定による DCA2 級修了試験」について、最新の法改正や社会情勢の変化を反映した出題内容とするため、新規の試験問題の策定と既存の試験問題の更新を行いました。

- 2022 年 11 月に公開した DCA 資格の新教材「デジタルコンテンツアセッサに求められる最新知識 ver.2.0」に新規収録された最新の内容を大学教育の現場にも導入すべく、「科目認定による DCA2 級資格の取得プログラム」を実施する大学でプログラム受講生に課している「科目認定による DCA2 級修了試験」の出題範囲に組み込みました。
- 新規の試験問題と策定と既存の試験問題の更新にあたっては、複数の大学教員に作業を依頼し、資格試験の問題として適正な水準を保つための品質管理を強化しました。



デジタルコンテンツアセッサ資格制度ロゴ



DCA 資格修了試験問題(表紙)



図 3 個人情報保護制度見直しの全体像

出典：内閣官庁(2020)「個人情報保護制度の見直しに関する最終報告概要」を元に筆者作成

DCA 資格の新教材の内容の一部（個人情報保護法改正の解説）

3. DCA2 級資格の一般向け試験制度の構築

デジタルコンテンツアセッサの 2 級資格について、筆記試験を受験し合格することで取得できる「一般向け試験制度」の枠組みを構築しています。

- 当機構では、次世代を担う若者たちのコンピテンシーの向上を急務と捉え、大学レベルでの DCA 資格教育を先行して進めてきました。令和 4 年度には、一般向けの筆記試験の枠組みの構築を行い、「一般向け試験制度」を実施できる準備を整えました。
- DCA2 級は、企業・組織におけるデジタルコンテンツの管理者をロールモデルとして想定しています。当機構は、これを「青少年インターネット環境整備法」にいう「特定サーバー管理者」の業務に相当するものと定義しています。
- DCA2 級資格の「一般向け試験制度」は、令和 5 年度中に運用開始する予定です。

4. DCA3 級資格の一般向け試験制度の構築

デジタルコンテンツアセッサの 3 級資格について、筆記試験を受験し合格することで取得できる「一般向け試験制度」の枠組みを構築しています。

- 当機構では、次世代を担う若者たちのコンピテンシーの向上を急務と捉え、大学レベルでの DCA 資格教育を先行して進めてきました。令和 4 年度には、一般向けの筆記試験の枠組みの構築を行いました。
- DCA3 級の「一般向け試験制度」は、上記の DCA2 級の「一般向け試験制度」の整備に続く形で整備されます。実業界においては、DCA3 級資格は、DCA2 級資格に相当するコンピテンシーの獲得に向けて、その基盤となるコンピテンシーを獲得したことを示すものとなります。
- DCA3 級資格の「一般向け試験制度」は、DCA2 級資格の「一般向け試験制度」と同様に、令和 5 年度中に運用開始する予定です。

5. 公益財団法人 I-O DATA 財団の研究開発プロジェクトを実施

「デジタルコンテンツを適正に評価できる人材育成のための社会人向け研修 プログラム及び評価枠組みの開発」が、I-O DATA 財団の第 5 回研究開発助成（2022.4.1～2023.3.31）に採択。

- 本プロジェクトは、公益財団法人 I-O DATA 財団の第 5 回（令和 4 年度）研究開発の助成金を得て実施されました。成果の詳細は、2023 年夏に I-O DATA 財団にて開催される報告会において報告の予定です。
- 一般社会人が DCA 資格に関連するコンピテンシーに関する知識を習得するためのオンライン教材を開発しました。



I-O DATA 財団プロジェクトで開発したオンライン教材（一番左は PC でアクセスした画面、右の二つはスマートフォンでアクセスした画面）

6. 日本工学院八王子専門学校での特別講座を再開

コロナ禍により休止していた、DCA 資格 3 級特別講座（対面）を 3 年ぶりに再開しました。

- 日本工学院八王子専門学校の学生向けに実施していた、DCA3 級資格の取得のための特別講座（対面）は、2020 年 1 月に実施した後、コロナ禍により休止していました。これを、2023 年 1 月に 3 年ぶりに再開しました。
- 本特別講座は、「IT パスポート試験」または「基本情報技術者試験」に合格した学生向けに実施されているもので、テクノロジー的側面のみならず、コンプライアンスの面を含め、総合的にデジタルコンテンツを評価するためのコンピテンシーを身に付けようという意欲のある学生向けに開講しています。

7. 国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金教材 普及活動

独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金の助成金を得て当機構が開発した教材について、青少年とその指導者に向けての普及活動を行いました。

- 2022 年 11 月 13 日開催の第 19 回仙台市 PTA フェスティバルに出展し、当機構が開発した青少年向けデジタル教材の展示・実演をしました。
(ノート PC を用いた実演展示)
 - ・「異世界で学ぶ はじめての情報セキュリティ」
小学校中学年～中学生向け / 令和 2 年度開発
 - ・「これで安心！ フリマアプリやネットオークションとの付き合い方」
高校生～大学生向け / 令和元年度開発(ポスターとリーフレットを用いた展示紹介)
 - ・「どうぶつの町でトラブルがおきた！ スマホやゲームの使い方、キミならどうする？」
小学校低学年・幼稚園児向け / 平成 29 年度開発
 - ・「ネット社会を生きる力 インターネットを使いこなす 6 つのひけつ」
小学校中学年～中学生向け / 平成 26・27 年度開発
- 仙台市 PTA フェスティバルは、令和 2～3 年度はコロナ禍によりオンライン開催となっていましたが、3 年ぶりに仙台市民広場を会場にリアル開催され、約 5,000 名の来場者がありました。



第 19 回仙台市 PTA フェスタ



令和 2 年度開発教材 - 情報セキュリティの解説



令和元年度開発教材 - チャットするシーン

一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構

<https://www.i-roi.jp>

Copyright 2023 Internet-Rating Observation Institute